

企業体験会で慎重にバックホーを操作する高校生



## 富良野商工会議所が仕事体験会

【富良野】富良野地方の高校生が、地元企業・団体のさまざまな仕事に触れる体験会が、富良野高で開かれた。生徒たちは高所作業車に乗ったり、住宅の6分の1の模型を組み立てたりして、働く姿を具体的にイメージし、将来に向けて仕事への関心を高めた。

富良野商工会議所(軽米達也会長)が18日に昨年に続いて開催。企業・団体は建設・土木、運輸、酪農、医療、福祉、ホテルなど19事業所、高校生は富良野高、上富良野高、南富良野高の計約170人が参加した。

会場では各企業・団体が業務内容や機器類などを紹介。バックホー(油圧ショベル)の操作体験では、生徒たちがバケツに立てた水入りのペットボトルを落とさないよう操作し、社員から「うまいね。うちの会社で乗ってほしい」といった声も上がった。富良野高1年の浜野采夏さんは「慎重にゆっくり動かした。楽しくて、この仕事に興味がわいた」と話した。

## 重機操作や売り場陳列 19事業所が参加

高所作業車に試乗して高さ約10メートルまで上がった、上富良野高1年の古茂田凜心さんは「気持ちよかった。将来、これに乗って電柱で作業してみたいと思った」と関心を高めた。

また、ホテルのバー担当者によるシェーカーを使ったカクテル作り体験、チョコレート売り場陳列体験、高齢者・車椅子体験なども実施。生徒たちは25分間ずつ、興味のあるブースを回った。

富良野商工会議所の大玉英史専務理事は「各事業者がいろいろな工夫して取り組んでくれた。地元企業のことをさらに知ってもらえれば」と期待した。

(立木大造)

# 高校生「地元で働く」体感